

# FRONT LINE

## 訪日観光客のレンタカー利用急増に伴う 交通事故リスクの把握と軽減策の提案

近年、外国から日本を訪れる（インバウンド）観光客が増加している。これに伴い、人気の高い北海道や沖縄では訪日観光客のレンタカー利用も増え、日本人と異なる運転慣習を持つ外国人の交通事故リスクが懸念されている。

「私の専門は都市交通計画ですが、まちづくりや地域づくりを手がけていく中で、観光というテーマも扱っていました。観光については前向きな話が多いのですが、インバウンドを契機に日本の社会が国際化された時、道路交通上でどのような問題が起きてくるのかを検討する必要があります」と、土井さんは平成28年度に（公財）国際交通安全学会で研究調査プロジェクト「運転行動に影響を与える交通・安全文化に関する国際比較」を立ち上げた。この前年度、土井さんは同学会のプロジェクトで韓国や台湾の交通文化や交通事故について調査し、論文をまとめている。この内容に警察庁も注目し、今回のプロジェクトは同庁と連携することとなった。

地域・国籍別 特徴的な違反項目

	東アジア			東南アジア			北米・南米		
	韓国	中国	台湾	フィリピン	ベトナム	タイ	ブラジル	ペルー	アメリカ
Priority	信号無視		信号無視	歩行者妨害	歩行者妨害		歩行者妨害		
Speed	酒酔い酒気帯び					酒酔い酒気帯び	酒酔い酒気帯び	酒酔い酒気帯び	酒酔い酒気帯び
Comprehension		通行禁止	通行禁止	通行禁止	通行禁止			通行禁止	通行禁止
		追越し通行区分	追越し通行区分	追越し通行区分	追越し通行区分			追越し通行区分	追越し通行区分
		踏切不停止等	踏切不停止等	踏切不停止等	踏切不停止等			踏切不停止等	踏切不停止等
		右左折方法			右左折方法				右左折方法
		駐停車違反		駐停車違反				駐停車違反	駐停車違反

□：地域共通で傾向が強い違反項目 □：全外国籍の中で最も傾向が強い違反項目

### 地域・国籍別の運転慣習を 3つの視点から特徴づける

まず、土井さんは警察庁が持っている平成25～27年の日本国内における国籍別交通違反および事故データを分析して、地域・国籍別の運転慣習を「Priority」「Speed」「Comprehension」という3つの視点で特徴づけを行った。「Priority」は道路空間上において他者（車両・歩行者）と交錯する際の優先関係を表し、交通事故につながる危険の発生やその速度やエネルギーの大きさを表し、交通事故発生時の危害の大きさに関わる。「Comprehension」は交通規制、道路標示・標識の正しい理解を表し、交通事故の予防の前提となる。



大阪大学大学院 工学研究科 教授

## 土井健司さん

土井さんは（公財）国際交通安全学会「平成28年度研究調査報告会」（下記参照）で「運転行動に影響を与える交通・安全文化に関する国際比較—訪日観光客のレンタカー利用急増に伴う交通事故リスクの把握と軽減策の提案—」というテーマで成果を発表した



### ETC2.0を活用し、 危険箇所を抽出

プロジェクトでは、国土交通省による「ETC2.0車両運行管理支援サービス」に関する社会実験で（株）デンソーが取得したデータの一部を分析し、一定期間内に北海道でレンタカーを利用した

日本人と外国人の急ブレーキ発生場所を比較した。結果として、外国人は日本人に比べ、人口集中地区外での急ブレーキ発生割合が大きく、場所は交差点やその付近以外が多かったのである。「これは外国人が日本人に比べ、交通量が少ない状況および単路でヒヤリハットが生じている可能性があるといえます」と土井さんは指摘する。

### 運転者の特性別に対策を 検討していくために

土井さんらは、昨年10月18～23日に関西国際空港でレンタカーを利用した訪日外国人にヒヤリハット調査も実施している。主な対象は特にレンタカー利用の多い香港、台湾、韓国からの観光客で、Webアンケートによって68人から有効回答が得られた。65人がヒヤリハットを経験し、その77%は交差点と回答している。

「交差点と回答した半数は、信号機のない交差点を挙げていました。比較的小さな交差点や双方方向の交通が分離されていない小さな道路で、出会い頭衝突を起こしそうになったと思われる」と土井さんは考察する。

また、ヒヤリハットに加え、「運転に対する態度および考え方を問う質問項目」にも回答してもらい、その結果をもとに運転者を次の4つのクラスター（ドライバー群）に分けた。そして、各クラスターに応じた対策を検討した。例えば、運転技能が低いクラスター3、4に対しては、右左折が苦手な人が多いことから、右左折の仕方（直進・左折優先など）を指導する必要があるとしている。

クラスター1 < 36.4% >	運転技能及び交通安全意識が高い優秀なドライバー群
クラスター2 < 21.8% >	他者に影響されず自由な運転を志向するドライバー群
クラスター3 < 29.1% >	危険認知力及び運転技能が低く、無謀な運転傾向の高いドライバー群
クラスター4 < 12.7% >	運転技能は低いものの慎重な運転を行うドライバー群

<>内は構成比。有効回答数：55

### 安全運転啓発のための アニメーション動画を制作

現在、レンタカー会社では訪日外国人の利用者に向けて「安全運転のしおり」を配付するなど対策を講じているが、あまり読まれていないのが現状のようだ。そこで、プロジェクトでは多言語（英語・中国語・韓国語・タイ語・マレー語）に対応した3分程度の啓発アニメーション動画の制作に着手し、平成29年度中の完成をめざしている。

「今回の調査で得た結果を活かして、啓発するポイントも国ごとに変えていこうと考えています。日本に向かう飛行機の中や、レンタカーの手続きの待ち時間などに気軽に見てもらえるようにしていくつもりです」。

東京オリンピック・パラリンピックを控え、今後さらに訪日外国人のレンタカー利用の増加が予測される。2年目を迎えたプロジェクトは、より信頼性の高い対策の立案に向けて、Web上で訪日経験のある外国人への大規模な調査などを実施していく予定だ。

### News Review

### ●（公財）国際交通安全学会 様々な交通問題に関する研究成果を発表

4月14日、経団連会館（東京都千代田区）で、（公財）国際交通安全学会「平成28年度研究調査報告会」ならびに学会賞贈呈式が開催された。研究調査報告会は、平成28年度に成果が明らかになった研究調査プロジェクトの中から「アクセルとブレーキの踏み違いに関する高齢者の認知・行動特性の分析」「カンボジア王国プノンペン市における交通安全向上に関する実証的研究」「通学路 Vision Zero—通学路総合交通マネジメントの提案に向けて—」「運転行動に影響を与える交通・安全文化に関する国際比較」「自動車の自動化運転：その許容性を巡る学際的研究」の5つのテーマが発表された。



また、38回目となる国際交通安全学会賞の贈呈式もあわせて行われ、業績部門では富山市による「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの展開」が受賞した。